

同窓会だより

第54号

発行

長野県松本ろう学校同窓会

同窓会第65回定期総会開催の報告

去る3月27日(土)午後1時半より松本市総合社会福祉センターにて第65回定期総会が開催されました。出席者(来賓含)は約35名で、出席者が少なく本当に残念でした。

先ず、内田博幸同窓会事務局長の司会で定期総会が始まり、同窓会長葦澤正敏さんのあいさつで待望の東海分会が創立できたことや岩手大学図書館において小岩井是非雄先生作の掛図展開催についてのお知らせなどがありました。

・校長代理の教頭小林智明先生より祝辞をいただき、本年度、第47回全国聾学校陸上競技大会が松本にて開催されるとのお話もありました。

・PTA会長濱野進さん、親の会長田中信光さん、長野ろう学校同窓会長大塚吉晴さん、母校同窓会東海分会長新海和子さんが、ご多忙のところ来賓としてご臨席下さいました。

・仁科和夫さんを議長として、議事に入り、内田事務局長と加納栄会計部長を中心に、平成21年度活動報告・会計決算報告の承認及び平成22年度活動方針・事業計画・会計予算などの審議を行い、それぞれ承認されました。

・「賛助会員」の新設に対して、会員よりご意見ご要望をいただいた結果、新設が承認されました。

・役員改選では、同窓会相談役の降籙久さんと母校同窓会係職員が選挙管理を行い、現役員の信任投票が行われました。その結果、新役員が決定しましたので、同窓会だよりの2ページをご覧ください。

・総会が終わった後、茶話会では①ビデオ上映「2009年度：同窓会活動」と②同窓会創立70周年記念事業の計画とPRなどを行いました。



会長あいさつ

松本ろう学校同窓会長 葦澤 正 敏

新緑の候、同窓会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

松本ろう学校を卒業し新しく社会人になられた卒業生の皆様、就職、進学おめでとうございます。またこの4月に松本ろう学校に入学された皆様おめでとうございます。

さらに4月の人事異動に伴い、それまで2人だったろうの先生が5人に増えました。お一人は長野ろう学校から赴任され、もうお一人は新任の先生で大阪出身の方です。さらに、母校卒業生も非常勤講師としてお勤めされています。ろうの教員が増えることは、生徒のロールモデルとしても、ろう者の職業の場の拡大としても、とても喜ばしいことです。皆さんそれぞれが活躍されることを期待しています。

去る3月27日(土)同窓会第65回定期総会を開催し、役員改選も無事終了いたしました。会長として私が再々任され、三期5年目を迎えることになりました。本来ならば若い方に役員をお譲りしたいところでしたが、残念ながら同じ顔ぶれが役員を続けることとなりました。少し年をとっていますが、役員一同、同窓会の発展のため精一杯努力したいと思いますので、よろしくお願ひします。

さて、皆様にお伝えしたい明るい話題があります。去る4月3日(土)岩手県盛岡市の岩手大学ミュージアム企画展が開かれました。母校初代校長の小岩井是非雄先生が校長になる前まで勤めていた学校です。当時(大正時代)は盛岡高等農林学校(現・岩手大学農学部)といい、「銀河鉄道の夜」で有名な宮沢賢治が在学していました。小岩井先生が描かれた教材掛図を展示し、小岩井先生について初めて紹介されました。すべて手書きで152点描かれ、その内9点が展示されました。事務局長の内田博幸さんから6人の同窓会員が企画展を見学に行ってきました。「とても素晴らしくて、感動した。」と報告がありました。岩手の新聞に同窓会の訪問が報道され「松本ろう学校同窓会」と載せてある記事を見せてもらいました。私にとって小岩井先生も同窓会も誇りであり、本当に感激いたしました。

特別支援学校については、県教育委員会から出されている情報のまま、変わらないと思いますが、「校名変更なし」は約束どおり守られるのか、不安があります。県教育委員会の動きを注意深く見守り、私たちの意に反する決定をするような時は会員の皆様の力を集結して行動できるよう、ご協力をお願いいたします。今年もろう学校の名前を残す活動を続けていきましょう。

また、今年の6月16日には、松本ろう学校同窓会は創立70周年を迎える事となります。創立70周年記念事業を計画し、実行委員会を立ち上げ、準備が始まっています。6月19日に記念植樹を松本ろう学校で行う予定です。来年23年4月に記念大会も開きます。記念行事の成功に是非ともご協力頂きたく、心よりお願い申し上げます。

最後に、同窓会会員の皆様の益々のご活躍とご健康を祈念し、挨拶とさせていただきます。



平成22~23年度:同窓会役員名簿

~ ご支援ご協力お願いします! ~

【会 長】葦澤正敏 【事務局長】内田博幸(兼副会長) 【会計部長】加納 栄

【幹 事】相澤英人 中村 聖 熊谷 巧 中村諏訪子 上原幸子

【会計監査】上原滋一郎 米田 至 【相談役】宮下豊輔(元会長) 降旗 久(元会長)

着任のご挨拶



長野県松本ろう学校長 宇都宮 通孝 (うつのみやみちたか)

この度、小林文子校長先生の後を受け、4月1日よりお世話になることになりました。同窓会の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

今年度は、昭和15年私立松本聾啞学校において同窓会が発足されてから70周年を迎えます。役員の皆様と何回か会合を重ねるたびに、同窓会の皆様の同窓会や母校に対する熱い思いを感じます。素晴らしい70周年になるよう皆様と力をあせて精一杯努力してまいりたいと思います。

小岩井是非雄初代校長先生から受け継がれているろう教育の伝統を大切に、専門性をより高めていきたいと思っております。同窓会の皆様には、様々な面でお支えいただくことが多いかと思っておりますが、どうぞよろしくお願い致します。

お忙しい日々をお過ごしのことと思っておりますが、ぜひ機会を作って母校にお越しください。そして、後輩たちの成長ぶりをご覧下さい。お待ちしております。

『お世話になりました』

長野県長野ろう学校長 小林 文子 (こばやしふみこ)

校舎を優しく包んでくれていた桜も淡いピンクの花々から若々しい緑の葉に姿を替え始めました。同窓会の皆さんにはお変わりなくご活躍のことと拝察いたします。 私こと

この度、長野ろう学校へ転任となりました。松本ろう学校校長として二年間、大変お世話になりました。同窓会の皆さんには、いつも在校生のことを大事に考え御支援いただいていたことに心より感謝申し上げます。また、学校においでの際には、いつも校長室にお立ち寄りくださり温かいことばをかけてくださいました。とても心強く感じていました。

長野ろう学校では、校舎改築に向けて、同窓会の皆さん、親の会の皆さん、PTAの皆さん、心をつなげて取り組んでくださっています。

松本の皆さんもぜひ応援お願いします。

松本ろう学校同窓会の皆さんの益々のご活躍をご祈念申し上げ、お礼のことばといたします。本当にありがとうございました。



去る4月24日(土)長野ろう学校同窓会第41回定期総会にて、手話で挨拶する小林文子校長先生

『盛岡高等農林学校時代の教材掛図展』と 『岩手県立一関清明支援学校』を見学して

松本ろう同窓会事務局長 内田 博 幸

岩手大学図書館（アザリアギャラリー）にて岩手大学ミュージアム企画展『盛岡高等農林学校時代の教材掛図展（3月17日～4月18日）』が開催された。

松本ろう学校（初代校長）のろうあ者小岩井是非雄先生は、明治から大正時代の盛岡高等農林学校（現・岩手大学農学部）にて教材掛図の制作者として勤務。盛岡高等農林学校掛図所蔵で保存された掛図およそ1000点の内、小岩井氏作品（手書）150余点があった。今回の掛図展では、展示35点の内、小岩井氏作の掛図（昆虫学、遺伝学）9点が展示された。

“掛図”とは、明治時代より学校や大学等の授業で黒板や壁に掛けて使う絵図や地図が描かれた教材。最近では、教科書、テレビ、パソコンでの情報（写真付）と時代が変わり、掛図はあまり使われなくなったという。

去る4月3日（土）午前10時から正午まで小岩井先生の教え子の宮下豊輔さんと松本ろう同窓会役員と一緒に、岩手大学図書館「掛図展」見学のため、盛岡へ出かけた。岩手大学農学部教授・岩手大学ミュージアム館長の岡田幸助先生より動物、植物等の掛図について説明を頂き、良い勉強になった。岡田先生には大変お世話になった。

小岩井氏作の素晴らしい掛図を拝見して、私たちにとって小岩井先生を誇りと思う次第である。



岩手大学図書館 『盛岡高等農林学校時代の教材掛図展』 の見学



岩手県立一関清明支援学校の見学

午後は、盛岡市 → 花巻市 → 奥州市（旧水沢市） → 一関市へ出かけ、久しぶりにお会いした岩手聾史研究会の佐藤博一さんに案内をして頂いた。

既に、小岩井先生の書いた岩手聾学校同窓会の会報誌で「宮澤氏と知り合った・・・」との情報を得たので、花巻市・宮澤賢治記念館（資料と写真の展示）と身照寺にある豪華な宮澤氏のお墓参りに行って来た。

岩手県立一関聾学校を卒業された佐藤さんから学校の歴史と案内をして頂き、校舎周りを見学することができた。ただ、2008年4月から一関聾学校と一関養護学校が統合した「一関清明支援学校」になってしまったのは、非常に残念である。又、広い校舎と校庭、大きな桜の樹にはびっくりした。日帰りだったが、楽しい探訪と沢山思い出ができた。

〔協力 岩手聾史研究会：佐々木徹・佐藤博一〕

平成二十一年度岩手大学ミュージアム収蔵庫公開事業
盛岡高等農林学校時代の教材掛図展

岩手大学
ミュージアム
企画展

IWATE UNIVERSITY MUSEUM

■日時：2010.3.17.(水)～4.18.(日) 10:00～17:00
※3.22(月・祝)及び28.(日)は休館日です

■会場：岩手大学図書館 「アザリアギャラリー」

■入場料：無料

お問い合わせ 岩手大学図書館 019(621)6062

主催：岩手大学ミュージアム
協力：岩手大学アートフォーラム

盛岡タイムス (2010年4月5日)

松本市から教え子たち

小岩井是非雄の教材掛図展 作品と対面し「感激」

岩手大学ミュージアムに出展していた。小岩井は松本市出身の脱離者で、1911年(明治44年)に、長野県松本市の松本ろう学校同窓会の人が見学した。盛岡市赴任し、自然科学を専攻する上田三丁目(岩手大学)の松本市の三下豊輔さん(77)は師の作品と対面し「感激した。蔵局長が岩手ミュージアムで、岡田幸助館長、

の解説を受けた。岡田館長は「小岩井は17歳で大学に勤め、28歳まで、1944年(昭和19年)に、8月3日毎日17歳で盛岡高等農林に目の回るまじりさで入った」と話している。28歳で盛岡高等農林を出た若い人はいない。松本に行き、学校を作ったのはすごいことだ」と話した。

展覧されているのは、昭和初期に小岩井が松本市から松本に赴任した際に、岩手大学に持ち込んだ教材掛図展の複製品だ。小岩井の作品は、自然科の教材として、動物の生態や植物の生長の様子などが描かれている。小岩井は、松本市出身の脱離者で、1911年(明治44年)に、長野県松本市の松本ろう学校同窓会の人が見学した。盛岡市赴任し、自然科学を専攻する上田三丁目(岩手大学)の松本市の三下豊輔さん(77)は師の作品と対面し「感激した。蔵局長が岩手ミュージアムで、岡田幸助館長、

講義に活用した絵図、物や昆虫を、学術的な目で観察している。小岩井の作品は、活用し、絵図を、学術的な目で観察している。小岩井の作品は、活用し、絵図を、学術的な目で観察している。小岩井の作品は、活用し、絵図を、学術的な目で観察している。

小岩井の作品を訪ねて岩大ミュージアム企画展を訪れた山下さんから、山下さんは10歳から3年間、小岩井に絵を習った。感激して、指導を受けた先生だった。これだけの作品を残したのすごい。写真より精密に書いてあるのを見て、先生のすばらしさかもって分かった。内田事務局長は「五五に誇りに思い、感激した。もって帰さん(知ってほしい)と手紙を書いた。」

■ お悔やみ申し上げます ■

去る4月28日(火)、松本ろう学校の元教諭(昭和41～62年度)と元同窓会相談役の小林國次(こばやし・くにつぐ)先生が、病気のためご逝去されました。83歳。心からご冥福をお祈り申し上げます。

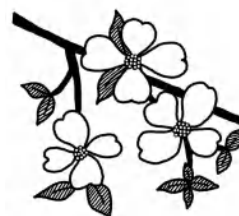
同窓会：平成22年度事業計画

| | |
|-------------------------------|----------------|
| ・母校入学式 | 平成22年4月6日(火) |
| ・会報『同窓会だより』第54号発行 | 5月15日(土) |
| ・母校運動フェスティバル | 5月22日(土) |
| ・同窓会創立70周年記念事業「記念植樹」 | 6月19日(土) |
| ・東京分会定期総会 | 6月(予定) |
| ・東海分会 | 8月(予定) |
| ・会報『同窓会だより』第55号発行 | 9月(予定) |
| ・第47回全国聾学校陸上競技大会 in 松本 | 10月1日(金)～3日(日) |
| ・母校はと祭 | 10月23日(土) |
| ・卒業生に対する説明会 | 平成23年3月(予定) |
| ・母校卒業式 | 3月17日(木) |
| ・同窓会第66回定期総会及び創立70周年記念「前夜祭」 | 4月29日(祝・金) |
| ・会報誌『白鳩の友』第57号発行 | 4月29日(祝・金) |
| ・同窓会創立70周年記念大会(記念式典・記念講演・祝賀会) | 4月30日(土) |

平成22年度：松本ろう学校だより

【在籍数】

| | | | | | |
|-------|-----|------|-----|------|-----|
| ・母校教室 | 6名 | ・幼稚部 | 5名 | ・小学部 | 15名 |
| ・中学部 | 11名 | ・高等部 | 12名 | ・専攻科 | 6名 |
| ・職員 | 66名 | | | | |



【同窓会係職員】

| | | | |
|-------|-----|-------|------------------|
| ・顧問 | 新校長 | 宇都宮通孝 | (佐久市立望月小学校教頭より) |
| ・世話役 | 教頭 | 小林 智明 | |
| ・相談役 | 小学部 | 山岡 美穂 | (再任・同窓会係主任) |
| ・相談役 | 中学部 | 氷川 明子 | (新任) |
| ・相談役 | 高等部 | 篠原 雅哉 | (新任・長野ろう学校高等部より) |
| ・相談役 | 専攻科 | 柳澤奈津美 | (再任・専攻科) |
| ・顧問 | 前校長 | 小林 文子 | (長野ろう学校長へ) |
| ・前相談役 | 小学部 | 小沢 智子 | (高等部へ) |
| ・前相談役 | 高等部 | 青樹 正美 | (高等部) |



県松本ろう学校にて、耳の聞こえない先生(ろう教員)

★平成22年度松本ろう学校にはろう教員が5名います。現任：田中郁人先生、伊藤みずほ先生、
新任：篠原雅哉先生、上嶋太先生、非常勤講師：松本ろう卒業生の黒澤美怜先生がおられます。

新任の篠原雅哉先生と上嶋太先生をご紹介します。

①名 前：篠原雅哉 (しのはら・まさや)

②出身地：三重県四日市市

③趣 味：子育て(2歳の娘)、島に行くこと、寝ること

④ろう学校卒業：名古屋市立千種ろう学校幼稚部まで

⑤一 言：今春の異動で5年間お世話になった長野ろう学校から、松本ろう学校にやってきました。懐かしい反面、街などは変わっているところも多くてビックリしました。改めて新しい気持ちでがんばっていききたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。



①名 前：上嶋 太 (かみじま・ふとし)

②出身地：大阪市

③趣 味：旅行、温泉に入ること、料理

④ろう学校卒業：大阪府立生野ろう学校幼稚部まで

⑤一 言：大阪では長く公務員をやっていましたが、心機一転、教員採用試験を受けました。長野県は私のつれあいの故郷でもあります。伝統ある松本ろう学校に赴任となり、とてもうれしいです。伝統を大切にしながら、学校で子どもたちが健やかにすごせるよう、がんばっていききたいと思いますので、よろしくお願いします。



【松本ろう学校の歴史:ろう教員】

長野県松本ろう学校の前身は、昭和11年～26年度「私立松本聾啞学校」時代に、ろう教員が5名おられました。前・国立筑波大学附属聾学校の前身である「官立東京聾啞学校」卒業生の小岩井是非雄先生、山中福代先生、平林弘也先生。松本ろう学校卒業生の甕信夫先生、長岡たけよ先生が「松本ろう学校」の発展にご尽力されました。素晴らしい歴史だと思います。



(前筑波大学附属聾学校美術専攻科卒業:内田博幸)

2010年度:母校運動フェスティバルのご案内

来る5月22日(土)母校運動フェスティバルが下記により行われます。

★何かとお忙しいとは存じますが、ご都合をつけて参加してください。

— 記 —

◇ 日 時 : 平成22年5月22日(土) 午前8:00より正午まで

◇ 場 所 : 松本ろう学校・校庭(雨天の場合は体育館にて)

※来校されたら、受付をお通り下さい。詳しくは、[母校チラシ](#)をご覧ください。



同窓会創立70周年記念事業:計画とPR(お知らせ)

私たち同窓会は今年6月に、創立70周年を迎えることになりました。記念事業の計画は下記のとおりです。

■平成22年6月19日(土) 母校正門(玄関前)にて同窓会創立70周年「記念植樹」

■平成23年4月29日(祝・金) 塩尻市アスティかたおかにて同窓会定期総会及び同窓会創立70周年記念「前夜祭」

■4月30日(土) 母校体育館にて「同窓会創立70周年記念大会(記念式典・記念講演・祝賀会)」

◎70周年記念事業:実行委員会は、記念事業に向けて準備を進めております。詳しい内容が決まりましたら、次号「同窓会だより」に掲載しますので、ご覧ください。

□同窓会「賛助会員」募集のお知らせについて

去る3月27日(土)同窓会第65回定期総会において「賛助会員」の新設が承認されました。

◆「賛助会員」は、旧・現職員、PTA、親の会、同窓会会員以外(友人でも可)から募集

◆年会費500円 ◆「同窓会だより」と「白鳩の友」を配布いたします。

◎「賛助会員」募集の申込書については、同窓会事務局長:内田博幸までお問い合わせください。(FAX0263-72-9328)

= お 願 い =

①平成22年度:会費納入のお願い ②郵便はがき「青い鳥」無料配布の寄付について ③同窓会創立70周年記念事業寄付金のお願いについては、別紙を配布しますので、ご協力お願い申し上げます。

《あ と が き》 3月「春の大雪」、4月「桜と雪」変な天気でした。今年4月より松本ろう学校のろう教員が5名になり、誠に喜ばしい事と存じます。そして今年6月、同窓会創立70周年を迎える事になりました。これからも記念事業に対して、同窓会の皆さんの温かいご支援とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

[同窓会事務局:内田記]